



森ボラ 通信

第158号 2015年7月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel. (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆ 澄川南小学校4年生澄川環境林で自然観察会

6月15日に環境教育の一環として3年生に続いて4年生44名の自然観察会を行いました。学校から徒歩で集合場所の豊平清掃事務所広場に10時過ぎに到着し、学校並びに当協会から簡単な注意事項説明後に林内観察を開始、数日前にTVでマダニの特集が放映され噛まれたら口から接着剤みたいなものを出すので簡単に引き抜けないと言う話をしながら散策していると蟬の抜け殻を見つけかなり興味を持って観察していました。

ホダ木の仮伏せの所では当協会からキノコ栽培の説明を受けましたがキノコが生えていなかった為か、ただの木にしか見えなかった様で見せ方に今後の課題が見えてきたように思えました。

樹木園での樹木の説明には真剣に聞き入っている様でした・・・。



又、この森にエゾリスがいる話をしたら“見たい見たい”ってはしゃいでいましたが簡単には現れてくれないと思っていたところ目の前に現れ一目散で木を登り見えなくなり、一瞬の出来事なので一部の人しか見られなかった様で残念がる人がいました。

林内観察は2時間弱で終わり観察したことを書き留めることで自然観察会を終えました。生き物とか変化のある物には興味が湧く様で観察会、森林教室を催す場合の参考にしたいと思います。

(文・大窪)

■ 活動報告

◆ 澄川の自然観察 ・いずれアカゲラ、オオアカゲラ！？ (6月23日(火))

澄川E4地区での四阿づくりは、約束の6月末完成が押し迫っても一向に仕上がりの見えない状況にある。そんな中、製作中の四阿近くでキツツキの鳴り響く声が大きく、高野さんがこの近くに巣がありそうだなあ、との呟き。

その日の昼食の折、周りを注意して観察していたら近くの径30cmほどのカエデの梢に餌やり中のキツツキを発見。カメラの準備がないためこの日は断念。

6月23日、大窪さんのカメラが貴重な餌やり中のキツツキをゲット。時間は



イラスト

12:31 でした。さて、アカゲラか“オオ”アカゲラかで食事中の話題に花が咲いた。帰宅後に調べ次のヒントを得た。



アカゲラとオオアカゲラの違い！？

白と黒と赤、3色のキツツキ。体がアカゲラより大きいから”オオ”アカゲラと言うほか、はっきり言ってわからない。結論から言えることは、

アカゲラ：①体全体の白黒まだら模様は黒の部分が多い。

②オスの頭部赤毛は背中側にある。

オオアカゲラ：①体全体の白黒まだら模様は白の方が多い。

②オスの頭部赤毛は頭頂にある。

ゲットした写真や目視から頭部赤毛は確認できず、全体に個体が大きく、白っぽいとの判断でオオアカゲラのメスと判断した。この判断は、実際に見比べるとその差ははっきりするが、単体での判断は難しい。結局のところ、個体が大きい小さいかの判断に依存することになる。

6月29日(火)活動日には餌ねだり声も、警戒音もなく既に巣立ちを終えたようであった。この巣後には他の小鳥やモモンガが営巣してくれるのを願うばかり。



キツツキの仲間、このアカゲラはじめ、アリスイ、ヤマゲラ、コゲラ、オオアカゲラ、コアカゲラ、クマゲラの7種類と言う。この中でアリスイという鳥だけが夏になると南の国から渡って来る鳥で、他の6種は北海道に一年中留まって居る鳥、つまり留鳥らしい。

この留鳥のアカゲラ、コゲラが一年を通してごく普通に見られるが、それは北海道だからのことで、本州では、結構高い山に登らないとこのアカゲラには会えないと言う。アカゲラは、大きさ24センチ程、つまりハトを10センチ程小さくした大きさ。一方、オオアカ

ゲラは28cm程。背、頭、尾は黒い色ですが、背中には白い横縞や大きい八の字模様に見える白い斑が有り、頬やお腹はやや汚い白だが、その白いお腹の下部分は赤、♂は頭の部分にも赤い色が付いており、♀はその頭の部分の赤が無い鳥なので、その頭の赤色部分の有無しで♂♀の判断がつく。

「日本の鳥百科」・(公財)日本鳥類保護連盟のホームページでは、地鳴きやドラミングの再生を試聴できる。(文・西野)

◆ 当別ダムを越えて、オイスカ植栽地の下草刈り支援

そのダム湖は“ふくろう湖”とも呼ばれており、なるほど当別川を遡り、鳥が棲むような深い森に囲まれた地に満々と水を湛えて静かにあり、その底に350haの農地と100数戸の民家が沈んでいるとはつゆも感じさせない風景です。6月20日、そのダム湖の上流約4km、オイスカが取り組んでいる道民の森の植栽地の下草刈りに初めて参加しました。われら森ボラ5名の他、



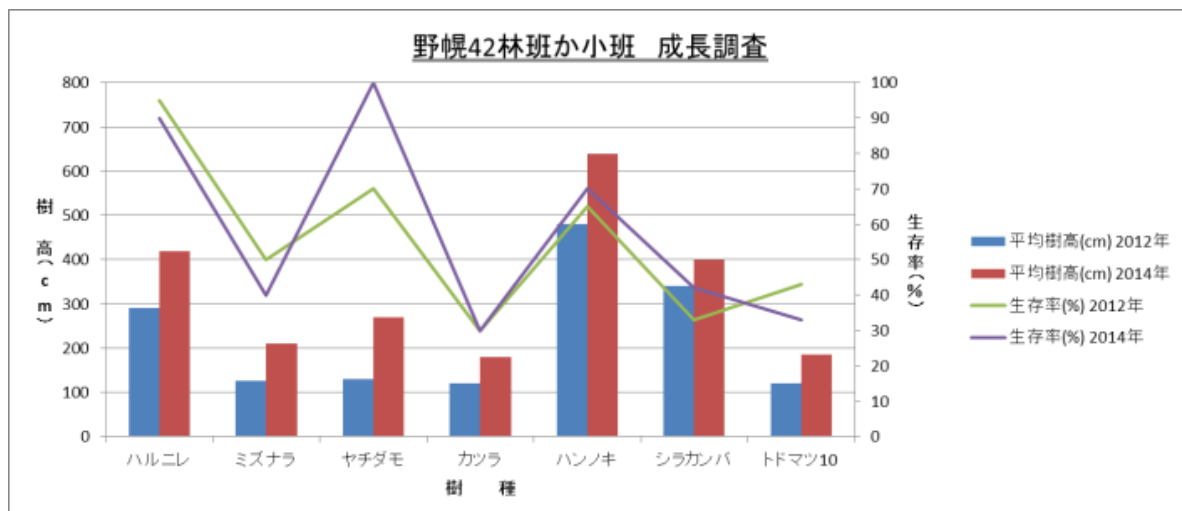
オイスカ、ヒマラ山の会などのメンバー、計20名がバスを仕立てて集まりました。

当地はオイスカが2003年から10年までに、2.5haの水田跡地にトドマツ、アカエゾ、ナナカマドなど5,300本を植樹し、森ボラも04年から植樹や下草刈りの支援をしてきたところと聞きます。今回はアカエゾとヤチダモが植栽された一面を、手刈り班がツボ刈りし、森ボラメンバーを主力とする機械班が残りを全面刈りしました。水田跡地という土壌条件が原因か、あるいは勢いを増す雑草に負けてのことなのか、アカエゾは比較的元気に育っていましたが、ヤチダモは欠株こそあまり無いものの植えてから5年以上経つという木の勢いは見られませんでした。雑草には厄介なスゲ類や牧草なども多く、加えて「外来種の展示場と化した」とかつて酒井さんが悲鳴を上げたオオハンゴンソウやキクイモであり、下草を抑える木の成長はいつのことやらという感じでした。森ボラが植樹した処もツボ刈りしましたが、こちらは残ったケヤマハンノキは2010年10月に植栽しましたが3mから5mほどに伸びており、補植したトドマツも何とか生き抜いていました。人間の努力を嘲笑うかのような雑草の繁茂ぶりでしたが、微力だけど無力ではないというボランティア精神を信じてもう少し見守っていくべきかと思いつつながら帰路のバスに乗り込んだ次第です。(文・清澤)



◆活動報告(野幌成長調査・2015・6・30)参加者5名

運転の釣井さんは道のデコボコを逃れるのに真剣ですが、かぶさってくる枝や木々の太さが10年前の景色とはまるで違います。一言鬱蒼として来ています。協会の植栽地も看板が無かったらわからないほどです。



この日は雨のためにNo.9列のみ成長調査を行いました。この活動地は鹿・野鼠・アライグマがいるとの事で試験植栽の時にはヘキサチューブやペットボトルを巻いたりしましたが植えた木も自生した木も良く成長していて着々と昔の森に戻っています。No.83のハンノキは幹周41cm(胸高直径13cm)となり樹高は12mで昨年より1mも伸びました。詳細記録はHPのアーカイブをご覧ください。(文・酒井)

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・酒井・佐野・高野・釣井・西野(備)・矢澤・和田

1. 8月、9月スケジュール・・・幹事会8月7日（金）
2. 親子森林教室報告・・・7/29の炭焼行事澄川南小の子ども達に案内（先生同伴）
トムソーヤスクール企画コンテストの助成決定・・・子ども達にヘルメット購入します。
3. 森林・山林多面的発揮機能対策進行状況・・・澄川で刈払機の講習会（7/21）9名参加登録
有明の太いササ刈りに安全確保の為メッシュプロテクター購入
4. 野幌森林公園の生長調査（6/30）・・・生長の調査結果はP3に掲載しています
5. 野外活動の確認
藻岩山幌南の森で幌南小学校野外学習支援（7/13）・・・4年生92名（引率者5名）
支笏湖ぶんぶんの森下草刈り（7/22・23）・・・道新経営企画室渡辺氏、荒山氏視察
6. 委員会報告
広報委員会・・・会計報告音声ガイドの案内 業務委員会・・・8月稼働日の確認
助成委員会・・・ローソン第5期助成承認されました
研修旅行の確認（9/24・25）・・・参加者21名 黒松内町ブナセンター訪問
7. その他
 - ・札幌市長表敬訪問（7/30）・・・第27回森林レクリエーション協会地域美化活動コンクールで「農林水産大臣賞」受賞報告（酒井、市山で訪問）
 - ・第7回さっぽろ環境賞の応募について・・・対応決定
 - ・6月会計報告

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
6月11日（木）	リンゴ園	2	摘果
6月12日（金）	ラルズビル／リンゴ園	13／6	定例幹事会／摘果
6月15日（月）	澄川	15	澄南小4年生48名澄川の森散策。キノコホダ木本伏せ
6月16日（火）	有明	10	厚別川沿作業道整備。ギャップ地のササ刈り
6月17日（水）	リンゴ園	7	摘果
6月19日（金）	藻岩山 幌南の森	10	「つ」地区と駐車場下草刈り。4本のエゾエノキ移植
6月20日（土）	当別青山	5	オオハンゴンソウの下草刈り
6月21日（日）	澄川／藻岩山	4／4	炭焼き用ニセアカシアとミズナラの運搬／中央区PTA
6月23日（火）	澄川／リンゴ園	13／5	避難小屋の建設／摘果
6月24・25日	支笏湖烏柵舞の森	15	下草刈り
6月26日（金）	杉本宅	2	樹名板の板作成（澄川南小学校用）
6月27日（土）	リンゴ園	6	摘果
6月29日（月）	澄川	15	上流橋の補修作業。ホタル池にカワニナ放流
6月30日（火）	野幌	5	ツボ刈り。生長調査
7月2日（木）	有明	7	ギャップ地のササ刈り
7月3日（金）	リンゴ園	5	摘果
7月4日（土）	澄川／リンゴ園	15／4	E-2尾根部分のニセアカシア巻がらし（40本）／摘果
7月7・8日	コンサの森／リンゴ園	15／1	下草刈り・生長調査／摘果